

平成30年10月10日に4階職員を対象に認知症の基礎勉強会を行いました。そのアンケートの感想から見えてきた課題をお伝えします。

① 4階フロアの特徴

- ベッド数 36ベッド
- 入所する方の特徴：認知症症状により生活に何らかの支障が出ており、自宅での生活が難しくなった方
- 認知症の程度
初期：初期でも実生活に支障が出ている方
中期～末期：失認・失行・失語・人格変化

② 勉強会の内容

- 認知症の行動・心理を読み取る！
- 資料 ①レジュメ
②認知症の基礎知識と認知機能テスト
③トム・キッドウッド著「実践パーソン・センタードケア」より詩の抜粋
④長谷川和夫さん
新聞記事「認知症になって」

③ 勉強会終了後アンケート 設問と回答

- Q 1) あなたの職務は何ですか？
看護職員 1名 介護職員 4名
- Q 2) 内容が業務に役にたったか？
→役に立った 5名
・内容が分かりやすかったか？
→分かりやすかった 4名 普通 1名
・今後も伝達研修などを行った方が良いか？
→はい 4名 どちらでもない 1名

感想をお聞かせください

- ・資料が図入りで分かりやすかった
- ・勉強会をしてきたことを他人に伝える難しさ
- ・内容に出てきたキーワードや行動と心理を読み取ることが大切だと思い勉強していく
- ・もう少し長く聞きたかった
- ・認知症ケア・・・難しいですね

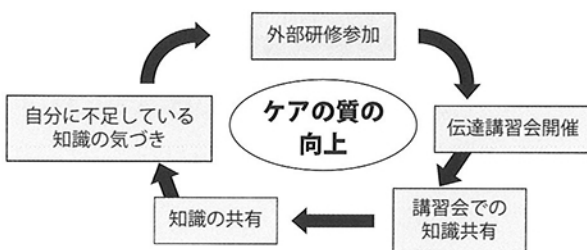
④ 老健たけおか外部研修実績

- 平成 29 年度 外部研修受講実績 14 件
内訳) 認知症ケア関連 0 件
高齢者権利擁護 3 件 感染症関連 2 件
リーダー育成 5 件 介護・看護実践 4 件
- 平成 30 年度認知症ケア関連 5 件
(4 月～ 10 月)
4 階配属の受講職員数 9 名 (15 名中)

⑤ 4階フロア 重点課題

- 課題 専門職として認知症を理解し良質なケアを提供できる
- 実施内容
・職員の資格保有者（認知症ケア専門士）を中心にフロアミーティングなどを利用して勉強会をシリーズ化して開催する
・勉強会で得た知識を具体的に入居者個々にあてはめ事例展開ができるように進める

好循環サイクル



研究発表を振り返って

今回は題材を決めるのに大分時間がかかり、またデータをどのように使っていくか苦労しました。今後の効果的な勉強会の在り方につながれば幸いです。